

<p>学 校 教 育 目 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 真理を追究する真摯で、積極的な学習態度を養い、高い知性と豊かな創造力を育てる。 ○ 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、自他を敬愛する心と社会的な連帯感を育てる。 ○ 健康で強靱な体力と不屈の精神力を培い、進取の気概に富んだたくましい実践力を養う。 		<p>校訓・文武一貫教育</p> <p>◇創造 新しくものを創り出すこと</p> <p>◇敬愛 尊敬し、親しみの心をもつこと</p> <p>◇堅忍 つらいことによく耐え忍ぶこと</p> <p>〈文武一貫教育〉を目指し、推進することを通じて、校訓の具現化を図る。</p>		<p>総合評価</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>		
<p>学 校 経 営 方 針</p> <p>生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、未来に向けた自己実現を援助する教育に努める。</p>						
<p>目 指 す 学 校 像</p> <p>新たな歴史を創造し、自校の教育と生徒を誇れる学校</p>						
<p>目 指 す 生 徒 像</p> <p>夢の実現に向けて、努力を惜しまない心の強い生徒</p>						
<p>目 指 す 教 師 像</p> <p>生徒を深く理解し心に寄り添いながら、生徒を高め育てる教師</p>						
<p>前 年 度 の 成 果 と 課 題</p> <p>[成果] ・基本的生活習慣及び規律ある学校生活の定着 ・自己の目標達成のための進路選択能力を伸長</p> <p>[課題] ・家庭学習の充実等主体的な学習活動 ・より高い次元での進路開発意識の向上 ・教育活動を通じた社会性・国際性の錬磨</p>		<p>本 年 度 の 重 点 目 標</p> <p>主体的な学習習慣の確立</p> <p>より高い次元での進路実現</p> <p>社会性・国際性の錬磨</p>		<p>具 体 的 目 標</p> <p>生徒が主体的に取り組む授業の改善や家庭での学習時間の確保</p> <p>進路情報の提供や個別サポートによる生徒の可能性を最大限に引き出す進路保障</p> <p>地域協働による「地域と共にある学校づくり」の継続と深化</p>		
教育活動	評価項目	具体的方策・評価指標等	評 価 総 括	成果と課題(評価の分析)	課題の改善策等	学校関係者評価他
学習指導	主体的な学習習慣の確立	・家庭学習点検週間を年3回実施し、昨年度や前学期の個人データ、集団のデータ等を提示して、自身の学習習慣を振り返らせ、日々の学習時間30分以上の生徒を増やし、学習習慣を確立させる。 成果指標90%	A	家庭学習点検週間を年3回実施。平均値や前学期分を示し、日々の学習を継続する意義について意識させた。	これまでの方法に加え、学習習慣の確立に向けた新たな方策を検討する。	継続して家庭学習点検を行うことには意義がある。主体的な学習にスマホなどの活用も考えられる。
生徒指導	規範意識の向上と挨拶の徹底	・規律と責任を自覚し、規範意識の向上と挨拶の徹底を図るため、毎朝の登校指導と、月一回のあいさつ運動を実施する。さらに、昨年度よりも問題行動、遅刻の減少を図る。 成果指標80%	A	一斉登校運動を毎月実施できた。平城生として適切な行動がとれていた。地域の挨拶運動にも参加できた。	時差登校を守ることでできない生徒に対し個別の指導方法を検討し、改善を図る。	生活委員によるあいさつ運動や教員の一斉登校指導も継続してほしい。
進路指導	能力・適性に応じた進路実現	・進路講演会や進路HR等の充実を図り、生徒や保護者の進路意識を高めるとともに、生徒個々に応じた進路指導を進め、第一志望大学の合格率の向上を図る。 成果指標80%	A	進路講演会を生徒対象4回、保護者対象6回行い、進路意識を高めるとともに、面談等を通して進路指導を進めた。	第一志望大学をあきらめないための指導方法等について検討する。	講演会は適切に実施されている。小論文やディベートは進路実現に役立っているので今後も充実させてほしい。
特別活動	部活動・生徒会活動の活性化	・健全な心身の発達のために部活動参加生徒90%を目指す。さらに県内ベスト4以上が10部以上を目指す。生徒会活動支持率80%を目指す。 学校生活満足度90%	B	県ベスト4以上10部以上の目標は達成できず。部活動参加率も昨年に引き続いて80%台であった。	部活動紹介などを工夫して、部活動の意義や魅力を伝えていく。	部活動等に熱心に取り組んでいる様子がうかがえる。今後とも文武一貫のもと、成果が上がるように期待する。
人権教育	参加型LHRの充実	・人権教育年間計画における普遍的課題及び個別の課題に関わる内容を整理し、生徒の参加型活動を年間3回以上取り入れ、人権意識の向上を図る。また、職員研修を計画的に実施する。 成果指標70%	A	生徒の参加型活動を3回以上取り入れ、人権意識の向上を図ることができた。職員研修を2回実施した。	LGBT等の課題に対するLHRの指導計画を検討し、実施する。	LGBTのような新しい内容を盛り込んで、生徒の参加型活動を高めていただきたい。
教育相談	SCを活用した教育相談	・SCのカウンセリング(年間35回予定)と連携しながら、教育相談の充実を図る。学校の中でいつでも相談できる環境をつくるとともに、いじめの未然防止に努める。 成果指標80%	A	不登校傾向の生徒指導を中心に、SCと連携を密にしながら、教育相談の充実を図ることができた。	支援を必要とする生徒のケース会議のもちかたを検討する。	職員間で支援が必要な生徒に関する情報の交換と共有を密にし、さらにきめ細かな対応を期待する。
環境美化	校内外の環境美化活動の推進	・清掃活動に積極的に参画する生徒を育成するとともに、年間1回以上保護者、地域と協働した美化活動を実施する。 成果指標80%	A	日頃の清掃活動に加え、美化委員等を核とした「花いっぱい運動」や「特別班での大掃除」等の活動を実施した。	関係者と連携し活動を継続。生徒自らが校内美化に参画する体制を構築する。	地域との協働「グリーンアクション平城」は根付いている。美化委員から一般生徒への広がりが必要である。
情報発信	学校理解の促進と説明責任	・学校Webページ等の効果的な活用を進め、地域や保護者等への教育活動の周知に努めるとともに、保護者アンケートの実施等によって理解度を検証し、学校改善に生かす。 成果指標80%	A	学校行事を中心に、ほぼ毎回、学校Webページに活動状況等について、情報発信を行うことができた。	学校Webページ上で行事予定や各種学校発行物等を紹介し、更なる充実を図る。	保護者アンケートで、学校の教育目標等を知らない保護者が多い。効果的に周知する方法を考えてほしい。
地域協働	地域貢献と体験の場の創出	・「地域と共にある学校づくり」を目指し、地域協働の取組を継続・実施し、より多くの生徒が地域とのつながりの大切さに気付き、自己有用感を高める契機を創出する。 成果指標80%	A	本年度も地域協働の取組を積極的に実施した。地域とのつながりを大切に考える生徒が増えた。	地域との協働の取組を部活動生徒だけでなく全生徒に広めていきたい。	夏祭りの櫓作りなど非常に助かっているが、それを指導する者が少なくなり生徒に多くの負担をかけ心配する。
健康体育	心身共に健康な学校生活を送る生徒を育てる	・学校管理下での負傷による保健室来室者数を減少させるために、疾病やけがの予防法を周知し、健康管理ができる資質を伸長させる。また、体力向上を目指し、スポーツテスト総得点を向上させる。 成果指標80%	A	行事(球技大会・体育大会)での負傷者が減少し8%減であった。スポーツテストは2年生は男女とも向上した。	体力向上に対する取組(授業や啓発活動)の充実を図る。	行事での負傷者数の減少は、予防的な広報の成果ではないか。今後とも継続して、工夫を図ってほしい。
読書教育	読書活動・図書館活動の充実	・朝の読書タイム、ビブリオバトル、「よむぞう」、図書委員などの活動を通じて、読書への関心を高めるとともに、学習や活動の内容と関連する蔵書の充実を図り、その紹介に努める。 成果指標80%	A	活動を計画通り行い、蔵書の充実、紹介に努め、貸出冊数、利用者人数とも増加した。	計画を着実に実施しつつ、図書館利用の活性化を図る。	朝の読書タイムも定着し、読書の関心を高められている。ビブリオバトルも年々質が向上している。